

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E1140008		知的障害児の発達検査法 (Developmental Tests for Children with Intellectual Disabilities)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	3	教育学部			氏名 佐藤 晋治 E-mail ssato@oita-u.ac.jp 内線 7531											
授業の概要	知的障害のある個々の子どもを理解し、個に応じた教育や支援の計画を立案する際に必須となる心理学的評価の手段のひとつとしての発達検査の背景理論、概要について学ぶ。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 特別支援教育における心理学的評価の必要性、および留意点を論理的に説明することができる。																	
目標2 それぞれの検査の背景理論、概要について論理的に説明することができる。																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 知的障害児の心理アセスメントの必要性と留意点																	
2 新版K式発達検査2020の背景理論と概要																	
3 新版K式発達検査2020の実施法と結果の処理法																	
4 新版S-M社会生活能力検査の背景理論と概要																	
5 新版S-M社会生活能力検査の実施法と結果の処理法																	
6 日本版Vineland- 適応行動尺度の背景理論と概要																	
7 日本版Vineland- 適応行動尺度と結果の処理法																	
8 田中ビネーVの背景理論と概要																	
9 田中ビネーVの実施法と結果の処理法																	
10 日本版KABC- の概要																	
11 日本版KABC- の実施法と結果の処理法																	
12 DN-CASの背景理論である知能のPASSモデル																	
13 DN-CAS認知評価システムの概要																	
14 DN-CAS認知評価システムの実施法と結果の処理法																	
15 授業のまとめ																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	演習,小テスト,小レポート,予習,復習,宿題,調べ学修(論文,書籍,インターネット等)					工夫 その 他の	動画の活用, LMS(Moodle)の活用									
	B:意見の表現・交換	プレゼンテーション, 学びの省察, ロールプレイ															
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	Moodleに掲載された講義資料を事前に予習し,必要に応じて,論文,書籍,インターネット等により「調べ学修」に取り組むこと(1週あたり90分)。															
	事後学修	講義で学習した内容を振り返り,講義で扱った内容や関連する課題について論文,書籍,インターネット等により「調べ学修」に取り組むこと(1週あたり90分)。															
教科書	指定しない。適宜、必要に応じてプリントをMoodle上で配付する。																
参考書	必要に応じて、なるべく最新のものをMoodle上で紹介する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	期末試験	60%															
	積極的な受講態度(討論や発表)	20%															
	小レポート(含振り返り課題など)	20%															
注意事項	講義内でMoodleを使用することがあるので, Moodleを閲覧できる媒体(スマホ,タブレット端末,ノートPCなど)を持参すること。また少なくとも週に1度はMoodleのこの科目のページを閲覧すること。																
備考	後期「知的障害児の心理アセスメント」も併せて受講することが望ましい。																
リンク	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	臨床心理士、学校心理士